

パモジャ PAMOJA



第27号
青年海外協力隊 巣守 世那
2026年 2月22日発行

できることを1歩ずつ

Hamjambo:

最近のタンザニアは、太陽が本領を発揮しだして、どんどん暑くなっています。教室の中はいるだけで汗が吹き出します。1年前のこの時期にちょうどバガモヨに来て、その時は暑くて夜も寝られないという日々が続いていましたが、今は体がこの気候に慣れたのか、以前よりも暑さに強くなっているなど感じます。

1月から新年度が始まり、今年は1年生の算数を担当しながら、2年生と5年生の算数のお手伝いをしています。子どもたちが学校でも学校外でも「ムワリム〜(スワヒリ語で先生)セナ〜」と笑顔で呼んでくれることが増え、ムワンバオ小学校の先生として認めてもらえた気がしました。



日本語の授業

これまで日本語の授業は、他の授業が行われていない時間を見つけたり、担任の先生から授業を1時間分もらったりしながら行っていたのですが、今年からは毎週金曜日の2時間日本語を学びたい児童が学べる日本語教室を開いています。(金曜日は宗教の時間といって2時間くらいお祈りに行くための時間があります。その時間にはお祈りに行く子もいれば、ご飯を食べる子、休んでいる子など自由に過ごしています。)



オンライン交流授業

昨年から様々な日本の小学校とオンラインで交流授業をしています。私の小学校には、バガモヨの自分が住んでいる地域のこしか知らない子がたくさんいます。だからこそ、日本という遠い場所にいる同じ小学生とつながることが、子どもたちにとって世界を知る機会になってくれたらいいなと思っています。

そして今回、以前私が担任していた学年の子どもたちとオンラインで交流することができました。私自身も教え子の元気な顔を見ることができ、素敵な時間を過ごすことができました。

算数教員で教材研究

子どもたちが視覚的に分かりやすく楽しく学べる教材と一緒に考えたり、悩みを共有できたりする場を作りました。まずは、先生たちも楽しんでもらって、授業でやってみようと思ってもらえるように挑戦中です。

